

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	田中 康子
連絡先 メールアドレス	y-tanaka@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	助教
所属	看護福祉学部 看護学科
略歴	久留米大学大学院医学研究科修士課程 看護学専攻（修士論文コース看護教育管理分野）修了 九州看護福祉大学 看護福祉学部 看護学科 助教
取得学位	修士（看護学） 学士（看護学、教養）
担当科目	地域ケアシステム論、地域・在宅看護学援助論、地域・在宅看護学方法論、在宅看護学実習、地域・在宅看護学概論、在宅療養支援チーム協働論、地域フィールド実習、基礎看護学実習、看護統合実習、看護統合演習Ⅰ、看護専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、卒業研究論文
専門分野	高齢者看護学 地域・在宅看護
所属学会	日本老年看護学会 2016年2月～ 日本看護科学学会 2016年5月～ 日本看護福祉学会 2019年8月～ 日本在宅看護学会 2020年8月～ 日本老年社会学会 2020年8月～ 日本運動器看護学会 2020年12月～ 日本リハビリテーション看護学会 2022年3月～
現在の研究テーマ	1. 配偶者と死別した高齢者の支援について 2. 看護学生の（認知症）高齢者とのコミュニケーションにおける自己評価 3. 避難行動要支援者への防災・減災に向けた支援の実態
教育研究業績 (著書・学術論文等)	【論文等】 ・田中康子, 中島洋子, 古村美津代 (2020): 臨地実習において認知症高齢者とのコミュニケーションを実践した看護学生の自己評価に関する質的研究, 日本看護福祉学会誌, 25 (2), 301-319. 査読有 ・多久島寛孝, 田中康子, 中原恵美, 羽田野花美, 山本勝則(2015): 自己理解と他者理解を深める事例検討会の意義と教育的効果ー患者との援助的関係形成能力の育成に向けてー, 保健科学研究誌, 12, 41-52. 査読有 ・臨地実習において認知症高齢者とのコミュニケーションを実践した看護学生の自己評価に関する質的研究, 久留米大学大学院医学研究科 (2019) 修士論文 【学会発表等】 ・第24回学術集会 日本老年看護学会 共同発表（一般演題）(2019) 認知症高齢者とのコミュニケーションを実践した看護学生の自己評価に関する質的研究 ・第23回学術集会 日本老年看護学会 共同発表（一般演題）(2018) ものわすれ予防検診参加者の認知症および社会資源の認識と理解の現状と課題 ・第23回学術集会 日本老年看護学会 共同発表（一般演題）(2018) 老年看護実習における学生の主体的学習を支援する方法の検討 ・第61回国立病院総合医学会 共同発表（一般演題）(2007) リウマチ看護充実にに向けた取り組みー勉強会と情報収集シート作成の試みからー
社会活動・ 社会貢献	・熊本県看護協会有明支部役員（2019年～） ・大学コンソーシアム熊本 環境整備活動 熊本城二の丸広場清掃参加（2021年 12月） ・大学コンソーシアム熊本 江津湖清掃活動参加（2019年 7月）